



喜多の埜

歯神社例祭のご案内

来月、六月四日は当神社の飛地（とびち）末社である歯神社の例祭日です。この歯神社は小さな祠（ほこら）のお社で、繁華街の中心、角田町において唯一戦前から残る建物として、梅田の地に今も御鎮座されておられます。

御由緒は江戸時代に、淀川の氾濫があった時に遡り、この歯神社の御神体である巨石がその洪水の流れを歯止めし、水没から梅田の街を守った事から歯止めの神様として慕われた事に由来します。後世、音韻が通じるのを以って「歯痛止めの神様」とも慕われ、更に時代が下がるにつれ、歯のご利益あらたかなるを遠近に知られるようになり、また大阪が歯ブラシ生産量日本一の地という事もあり、現在では「歯の大神さま」として、全国の歯に関わる方々から崇敬されています。

当日は午前十一時より歯神社前にて神事があり、氏子崇敬者をはじめ参列者皆様の歯の健康と、歯ブラシへの感謝の心を御祈願いたします。終了後（十一時二十分頃）に歯ブラシの授与がございます。尚、歯ブラシの授与数は先着百名さま迄とさせていただきます。皆様のお参りをお待ち申し上げております。

名称 歯神社例祭（通称 歯ブラシ感謝祭）

日時 平成廿五年六月四日（火）午前十一時

場所 大阪市北区角田町二番八号 歯神社

（ユニクロ梅田店 入口横）

備考 歯ブラシ授与は先着百名迄。

お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

〇六・六三七一・一五八六

玉姫稻荷神社例祭

今月五日のこどもの日は、茶屋町の当宮御旅社の末社、玉姫稻荷神社の例祭日です。玉姫稻荷神社は女性守護の神さまとして知られ、一説には茶屋町の名の由来にもなった鶴乃茶屋などで働く女性方から信仰を聚め、諸芸に関わる女性のお参りも多かったといわれています。近年では近隣で働かれる女性会社員の方や、女性経営者の方のお参りも見られ、今も篤く信仰されています。

また古くには、「梅田の牛の藪入り」という行事も同時に行われ、現在、グランフロント大阪のあるあたりで、季節の花と粽で飾った牛を一日自由に放牧させてあげる風習があり、最後に当宮にお参りに訪れていたそうです。

現在、牛の放牧はありませんが、玉姫稻荷神社横の神牛像に花飾りをつけることで、唯一牛の藪入りの名残を今に伝えていきます。本年も例年通り、神事のみであります。右記の通りご齋行申し上げます。

名称 玉姫稻荷神社例祭（通称 玉姫祭）

日時 平成廿五年五月五日（日）午前十一時

場所 大阪市北区茶屋町十二番五号

網敷天神社御旅社内

茶屋町キャンドルナイト

来月、六月五日、茶屋町で「百万人のキャンドルナイト」が行われます。元々は夏至と冬至の日に電気の明かりを消して、自然の明かりの大切さと、忘れてしまいがちな大切な事を思い出すきっかけにという趣旨で始められたもので、この日、茶屋町界隈は電燈を抑えて、ロウソクの明かりで彩られます。

また今回は、地元地域のお子さん方の作品によるペーパーバック行燈展や、茶屋町画廊・梅田ミツバチプロジェクトさんとの協力による蜜蝋キャンドルなど、地域に根ざした明かりも灯される予定となっております。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、

a u、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀 知

